

# 操作マニュアル

## DuraVision® FDF2304W-IP

カラー液晶モニター

### 重要

ご使用前には必ずこの操作マニュアル、設定マニュアルおよびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

•最新のマニュアルは、当社のWeb サイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



## マニュアルの記載内容について

	<b>セットアップマニュアル</b>	使用上の注意、およびネットワークカメラとの接続からカメラの画像を表示するまでの設定について説明しています。
	<b>操作マニュアル（本書）</b>	ネットワークカメラやライブ画面のメニューの操作について説明しています。
	<b>設定マニュアル</b>	ネットワークカメラの登録や機能の設定、モニターのシステム設定について説明しています。

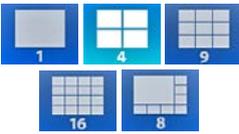
- 
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
  2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
  3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
  4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

# 操作ガイド <ライブ画面のメニュー操作>

ライブ画面のメニューはリモコンを使って操作します。  
 (詳細は、「第4章 操作する」(P.11)を参照してください。)



## モニターの表示画面を操作する

メニュー	リモコンボタン	操作内容
	FULL	ライブ画面のメニューを表示/非表示します。
	LAYOUT	モニター画面のレイアウトを変更します。 押すたびに、1面→4面→9面→16面→8面→1面の順にレイアウトが切り替わります。
	Smart	Smart機能 <sup>*1</sup> をオン/オフします。 ※1 画像の視認性を向上する機能です。
	SEQUENCE	カメラ画像のシーケンス表示 <sup>*2</sup> をオン/オフします。 ※2 表示ページを一定間隔で切り替えます。
	PAGE-/PAGE+	モニターに表示するカメラ画像のページを切り替えます。

# ネットワークカメラを操作する

## ● 操作の前に

ネットワークカメラの操作が可能なレベルのユーザーで、システムにログインしてください。  
(ユーザー情報については、システム管理者にお問い合わせください。)

1. <> でシステムの  (ログイン) を選択して ENTER を押します。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。
  - (1) V^ でテキストボックスを選択して ENTER を押します。
  - (2) 0 ~ 9 で各値を入力して ENTER を押します。
3. V^ で「ログイン」を選択して ENTER を押します。
4. RETURN を押します。

## 操作方法



1. V^ でカメラ操作を選択して ENTER を押します。
2. 操作するネットワークカメラを選択します。
  - (1) 「カメラ」が選択されていることを確認して ENTER を押します。
  - (2) V^ でネットワークカメラを選択して ENTER を押します。
  - (3) RETURN を押します。
3. V^ で操作したい機能が含まれている枠を選択して ENTER を押します。
4. 各機能を操作します。

### 明るさ

ネットワークカメラの明るさを調整します。  
<> で設定ボタンを選択して ENTER を押します。

  押すたびに暗く/明るくなります。

 初期設定に戻ります。\*1

\*1 「プロトコル」が「ONVIF」のネットワークカメラの場合は、設定できません。

### プリセット

ネットワークカメラの向きを、あらかじめ登録した位置に移動します。

- (1) リストボックスから選択して ENTER を押します。
- (2) V^ でプリセット番号を選択して ENTER を押します。

 ホームポジションに移動します。  
<> で設定ボタンを選択して ENTER を押します。

### フォーカス

ネットワークカメラの焦点を調節します。

  押すたびに近く/遠くなります。\*2

 自動的に調節します。\*3

\*2 「プロトコル」が「ONVIF」ネットワークカメラの場合は、手動調整モードに切り替わります。

\*3 「プロトコル」が「ONVIF」ネットワークカメラの場合は、自動調整モードに切り替わります。

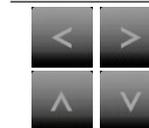
### ズーム

ネットワークカメラの表示倍率を調節します。  
ZOOM- / ZOOM+ を押します。

  押すたびにズームアウト/ズームインします。

### ポジション

ネットワークカメラの撮影位置を調節します。  
<> ^ V を押します。

 撮影位置が水平/垂直方向に移動します (パン/チルト)。

※お使いのネットワークカメラによっては、操作できない機能があります。

# モニターについて

## クリーニングの仕方

### 注意点

- ・アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

### 参考

- ・キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

## モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

# 目次

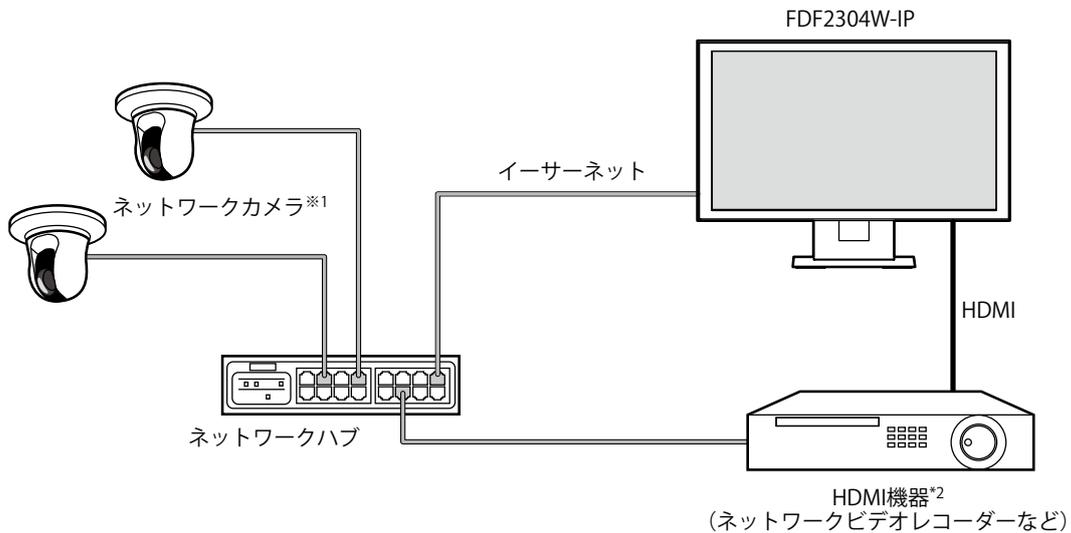
操作ガイド<ライブ画面のメニュー操作>.....	3	付録.....	21
モニターについて.....	5	商標.....	21
クリーニングの仕方.....	5	ライセンス/著作権.....	22
モニターを快適にご使用いただくために.....	5	VCCI.....	22
目次.....	6	その他規格.....	22
第1章 製品概要.....	7		
1-1. システム構成.....	7		
第2章 各部の名称と機能.....	8		
2-1. モニター.....	8		
2-2. リモコン.....	9		
第3章 電源を入れる/電源を切る.....	10		
● 電源を入れる.....	10		
● 電源を切る.....	10		
第4章 操作する.....	11		
4-1. ライブ画面について.....	11		
● メニューの基本操作方法.....	11		
4-2. 画面のレイアウト/表示ページを切り替える...14			
● 画面のレイアウトを切り替える.....	14		
● 画面の表示ページを切り替える.....	15		
4-3. Smart機能をオン/オフする.....	16		
4-4. ネットワークカメラを操作する.....	16		
● 操作の前に.....	16		
● ネットワークカメラを操作する.....	17		
4-5. 画面の明るさを調整する.....	18		
4-6. 入力信号を切り替える.....	18		
第5章 こんなときは.....	19		
5-1. 画面が表示されない場合.....	19		
5-2. 画面に関する症状.....	19		
5-3. その他の症状.....	20		

# 第1章 製品概要

この製品は、最大16台のネットワークカメラ※1の画像を表示できるカラー液晶モニターです。

※1 画像をネットワーク信号に変換して伝送するカメラです。

## 1-1. システム構成

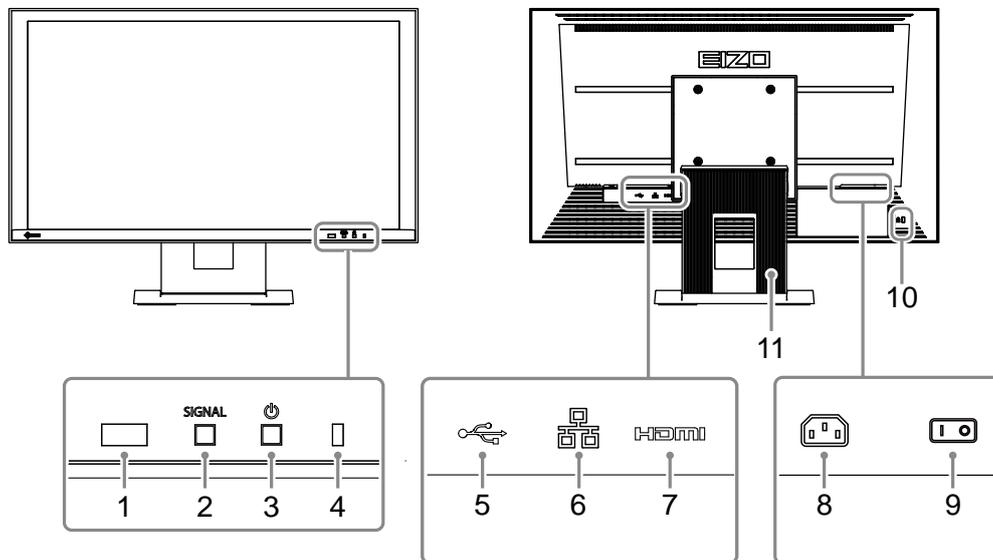


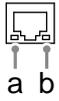
※1 ネットワークカメラは最大16台まで登録できます。

※2 HDMI機器 (ネットワークビデオレコーダーなど) は、必要に応じてご利用ください。

## 第2章 各部の名称と機能

### 2-1. モニター



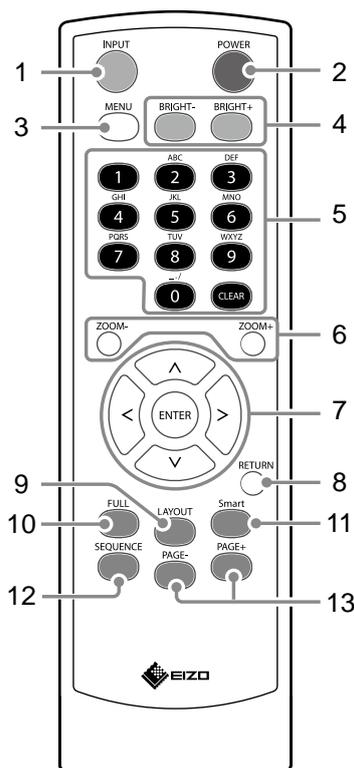
1. リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
2. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます。
3. 電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
4. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青： 画面表示 青点滅： システム終了中 赤： 電源オフ（「クイックスタート」：「オン」設定時 <sup>※1</sup> ） 消灯： 電源オフ（「クイックスタート」：「オフ」設定時 <sup>※1</sup> ）
5. USBダウンストリームポート	USBマウス、またはUSBメモリーなどのストレージデバイスを接続します。 <sup>※2</sup>
6. LANポート	ネットワークケーブルを接続します。  a) Link LED 緑： ネットワーク接続が確立 消灯： ネットワーク接続不可 b) Status LED 橙点滅： データ通信中
7. HDMIコネクタ	HDMI対応の外部機器を接続します。
8. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
9. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。  :オン ○:オフ
10. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
11. スタンド <sup>※3</sup>	角度が調整できます。

※1 「クイックスタート」では電源オフ時の状態を設定できます。詳細は、設定マニュアルを参照してください。

※2 その他のUSB機器（USBキーボードやUSBハブなど）を接続することはできません。

※3 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。詳細は、セットアップマニュアルを参照してください。

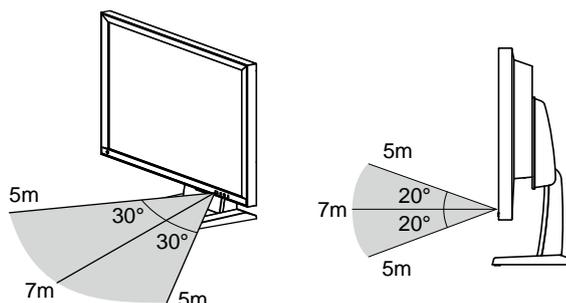
## 2-2. リモコン



1. INPUT	表示する入力信号を切り替えます。
2. POWER	電源のオン/オフを切り替えます。
3. MENU	モニターの調整メニューを表示/終了します。
4. BRIGHT-/BRIGHT+	モニター画面の明るさを調整します。
5. 数字ボタン (0~9) / CLEAR	数字や文字を入力するときに使用します。
6. ZOOM-/ZOOM+	ネットワークカメラの表示倍率を調節します。
7. $\wedge/\vee/</>$ 、ENTER	ネットワークカメラの操作 (パン、チルト) や設定、モニターのシステム設定などをおこなうときに使用します。
8. RETURN	メニュー操作時、1つ上の階層に戻ります。
9. LAYOUT	モニター画面のレイアウトを変更します。 押すたびに、1面→4面→9面→16面→8面→1面の順にレイアウトが切り替わります。
10. FULL	ライブ画面のメニューを表示/非表示します。
11. Smart	Smart機能をオン/オフします。
12. SEQUENCE	カメラ画像のシーケンス表示をオン/オフします。
13. PAGE-/PAGE+	モニターに表示するカメラ画像のページを切り替えます。

### 注意点

- リモコンは図の範囲内で使用してください。



- 複数台のモニターを設置する場合は、リモコン操作が相互に影響しないよう間隔を空けてください。リモコンの信号を受信したすべてのモニターが同じ動作をします。

## 第3章 電源を入れる/電源を切る

### ● 電源を入れる

#### 1. モニター背面の主電源スイッチを入れます。

工場出荷設定時は主電源スイッチが入っています。

#### 2. モニター前面の またはリモコンのPOWERを押します。

電源ランプが青色に点灯し、ライブ画面が表示されます。

(ライブ画面については、「4-1.ライブ画面について」(P.11)を参照してください。)

#### ■ 注意点

- ・ 初期設定では、電源を入れてからライブ画面が表示されるまでに約1分かかります(起動中を示す回転バーが表示されます)。
- ・ モニターの起動中は電源を切らないでください。

#### ■ 参考

- ・ 電源オフ時の状態を変更することによって、ライブ画面が表示されるまでの時間を短くすることもできます(クイックスタート)。詳細は、設定マニュアルを参照してください。

### ● 電源を切る

#### 1. モニター前面の またはリモコンのPOWERを押します。

#### ■ 注意点

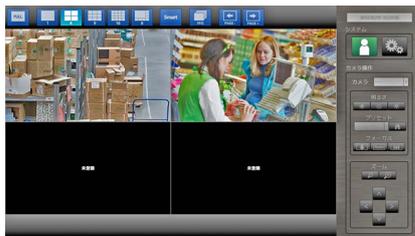
- ・ システムの終了中は、電源ランプが青色に点滅します。
- ・ 電源オフ時の状態は、「クイックスタート」の設定によって異なります。詳細は、設定マニュアルを参照してください。
  - 設定が「オン」の場合：システムの一部が起動したままとなります。(電源ランプ：赤)
  - 設定が「オフ」の場合：システムが完全に終了します(初期設定)。(電源ランプ：消灯)
- ・ モニターの主電源を切るときは、次の手順に従ってください。
  1. 「クイックスタート」が「オン」に設定されている場合、「オフ」に変更します。
  2. モニター前面の  またはリモコンのPOWERを押して、電源を切ります。  
システムが終了し、電源ランプが消灯します。
  3. 主電源スイッチを切ります。
- ・ システムが完全に終了する前にモニターの主電源を切ると、故障の原因となります。

# 第4章 操作する

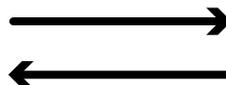
## 4-1. ライブ画面について

モニターの電源を入れると、ライブ画面が表示されます。  
ライブ画面には次の2つの状態があります。

- ・カメラ画像とメニューが表示されている状態
- ・カメラ画像のみ表示されている状態



ライブ画面（カメラ画像とメニュー）



リモコンのFULLを  
押して切り替えます。



ライブ画面（カメラ画像のみ）

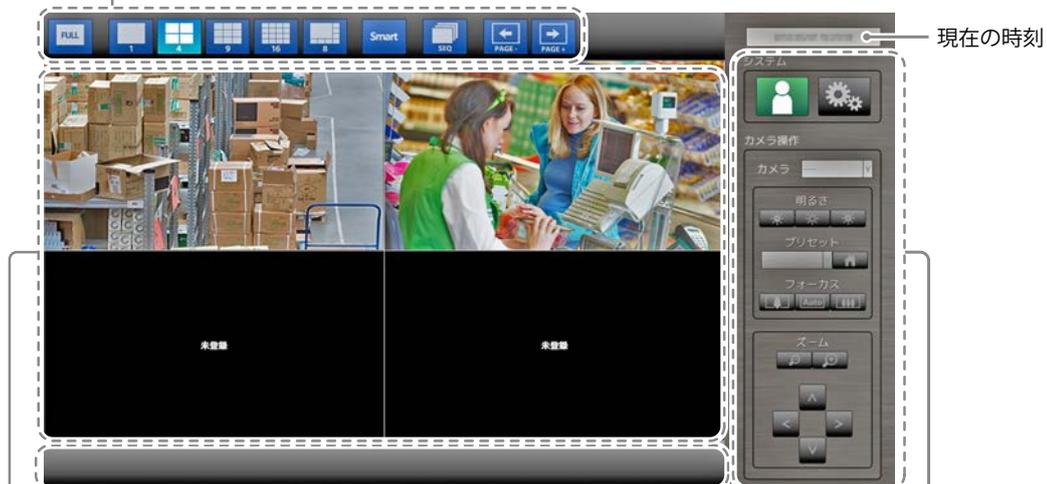
### 参考

- ・ Webブラウザからもライブ画面を操作することができます。Webブラウザからの操作については、設定マニュアルを参照してください。

## ●メニューの基本操作方法

メニューではネットワークカメラおよびモニターの操作、設定をおこないます。  
メニューはリモコンまたはマウスを使って操作します。

(1)



メッセージ表示エリア  
(カメラ操作時などのエラーメッセージが表示されます。)

カメラ画像表示エリア

- ・カメラが登録されていない場合は「未登録」と表示されます。
- ・対応外の信号が入力されている場合は「通信エラー」と表示されます。

(2)

---

**参考**

- USBマウスを使って操作する場合
    - モニター背面のUSBダウンストリームポートにマウスを接続します。
    - 文字の入力は、文字入力画面の「キーボード」をクリックします。画面にキーボードが表示されますので、キーをクリックして入力します。
- 

## (1) 表示メニュー

表示メニューでは、モニターに表示されるカメラ画像に関する操作ができます。

### 操作方法

メニューに対応する機能ボタン（FULL、LAYOUT、Smart、SEQUENCE、PAGE-/PAGE+）を押します。

---

**参考**

- 機能ボタンによる操作はメニューが表示されていないときでも有効です。
- 

## (2) システム設定メニュー/カメラ操作メニュー

システム設定メニューでは、システムへのログインおよびシステムの設定ができます。  
カメラ操作メニューでは、モニター側からネットワークカメラを操作できます。

### 操作方法

#### 項目を選択するとき

△/▽/◀/▶を押します。

#### 選択した項目を決定するとき

ENTERを押します。

#### 設定を変更するとき

- 設定ボタンの場合：           ENTERを押します。（ズーム、位置調整を除く）
- リストボックスの場合：    1. ENTERを押します。  
                                      選択リストが表示します。  
                                      2. △または▽で設定を選択します。  
                                      3. ENTERを押します。

#### 1つ上の階層に戻るとき

RETURNを押します。

---

**参考**

- 設定中の変更を取り消す場合は、RETURNを押します。
-

## 文字を入力するとき

### 1. ENTER を押します。

テキストボックスが緑色に反転します。

### 2. 数字ボタン（0～9）を押します。

ボタンを続けて押すと、文字が切り替わります。文字の入力順序は、次の表を参照してください。

ボタン	入力文字								
0	0	-	_	:	.	/	(スペース)		
1	1								
2	a	b	c	A	B	C	2		
3	d	e	f	D	E	F	3		
4	g	h	i	G	H	I	4		
5	j	k	l	J	K	L	5		
6	m	n	o	M	N	O	6		
7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7
8	t	u	v	T	U	V	8		
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9

次の文字を入力するときは > を押します。

文字を削除するときは CLEAR を押します。

### 3. ENTER を押します。

#### 参考

#### ・ネットワークアドレスの入力方法

ネットワークアドレスのテキストボックスは、「.」で区切られています。

- 3桁の数値を入力すると、自動的に次の入力位置に移動します。
- 2桁や1桁の数値の場合は、> を押すと次の入力位置に移動します。
- マウスを使用している場合は、「.」を入力すると次の入力位置に移動します。

#### 注意点

- ・この製品にアクセスするユーザーのレベルによって、メニューを操作できる範囲が異なります。ユーザーレベルには「LIVE」、「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」があります。それぞれのレベルで操作できる範囲は次のとおりです。

(○：操作可、-：操作不可)

レベル	操作	表示メニュー	システム設定メニュー		カメラ操作メニュー
			ログイン操作	システム設定	
LIVE		○	○	-	-
CAMERA CONTROL		○	○	-	○
ADMIN		○	○	○	○

- ・電源オン時およびログオフ後のユーザーレベルは「LIVE」です。
- ・ユーザーレベルの設定については、設定マニュアルを参照してください。

## 4-2. 画面のレイアウト/表示ページを切り替える

### ● 画面のレイアウトを切り替える

1画面に表示するカメラ画像の数を切り替えます。

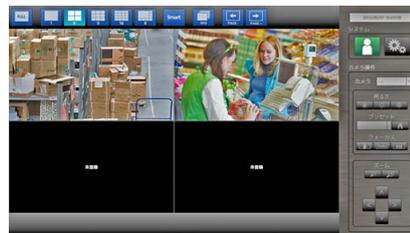
#### 操作方法

1. リモコンのLAYOUT を押します。

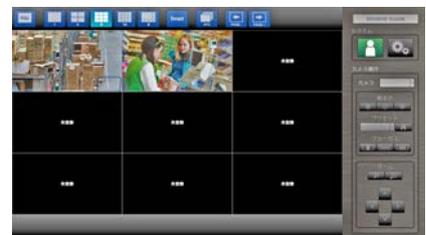
ボタンを押すたびに、画面のレイアウトが切り替わります。



1面



4面 ↘



9面

8面

16面 ↙



#### 参考

- ネットワークカメラを選択してリモコンのLAYOUT を押すと、選択したカメラ画像が1面表示されます。
- ネットワークカメラを選択してマウスでレイアウトを切り替えると、選択したカメラ画像の表示ページに切り替わります。
- 操作したいネットワークカメラをリモコンの数字ボタンで選択することができます。
- 画像を表示する位置を変更することもできます。詳細は、設定マニュアルを参照してください。

## ● 画面の表示ページを切り替える

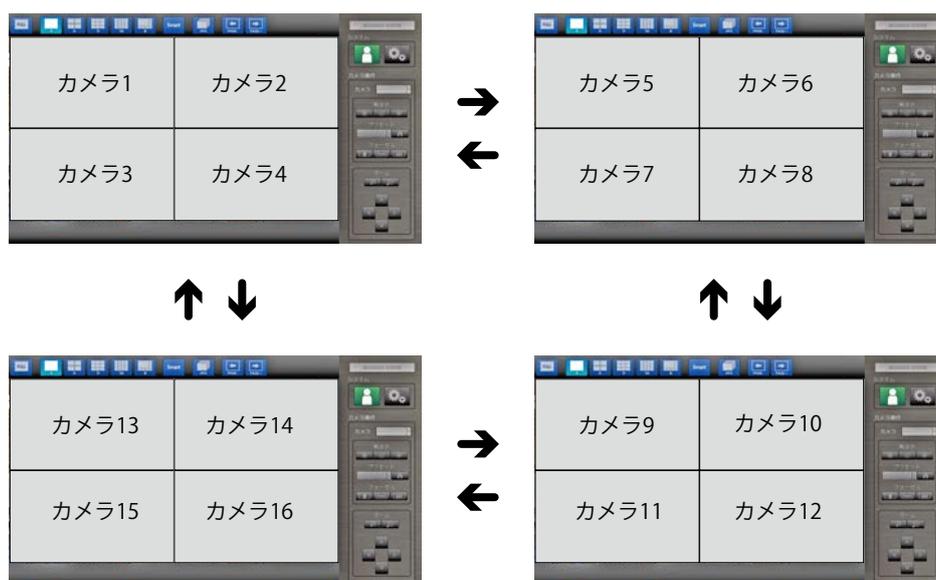
画面のレイアウトが16面以外の場合は、ページを切り替えてカメラ画像を表示します。ページの切り替えは、手動で切り替える方法と、一定の間隔で自動的に切り替える方法（シーケンス表示）があります。

### 手動で切り替える

#### 操作方法

1. リモコンの PAGE- または PAGE+ を押します。  
ボタンを押すたびに、画面に表示されるページが切り替わります。

例：画面のレイアウトが4面の場合



### 自動的に切り替える（シーケンス表示）

#### 操作方法

1. リモコンの SEQUENCE を押します。  
指定された間隔で、画面に表示されるページが自動的に切り替わります。

#### 参考

- ページを切り替える間隔を変更することもできます（初期設定：5秒）。表示間隔の変更方法については、設定マニュアルを参照してください。
- シーケンス表示を停止するときは、再度 SEQUENCE を押してください。

#### 注意点

- シーケンス表示中はカメラを操作したり、設定画面を表示することはできません。シーケンス表示を停止してからおこなってください。設定画面の表示方法については、設定マニュアルを参照してください。

## 4-3. Smart機能をオン/オフする

あらかじめ設定したSmart機能の有効、無効を切り替えます。Smart機能を利用すると、カメラ画像の視認性を向上させることができます。

### 操作方法

1. リモコンのSmartを押します。  
ボタンを押すたびに、Smart機能の有効、無効が切り替わります。

### 参考

- Smart機能の設定方法については、設定マニュアルを参照してください。

## 4-4. ネットワークカメラを操作する

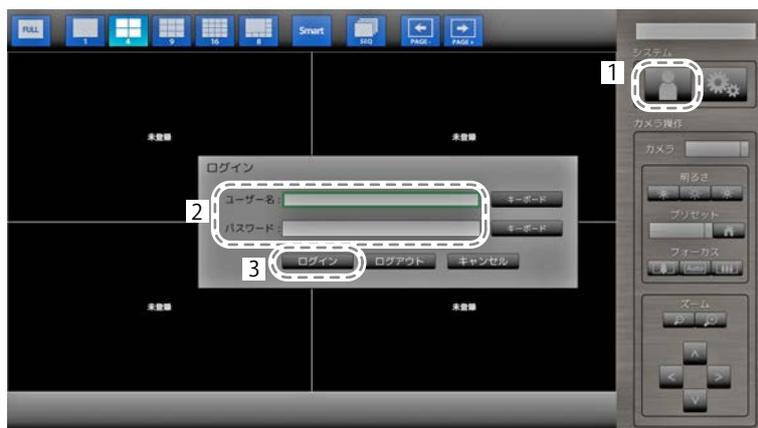
### ● 操作の前に

ネットワークカメラの操作は、この製品にアクセスしているユーザーのレベルが「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」のときのみ有効です。

はじめに上記レベルのユーザーで、システムにログインしてください。

### 操作方法

1. 「システム」の  (ログイン) を選択します。  
ログイン画面が表示されます。



2. ユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」を選択します。  
ライブ画面に戻ります。
4. リモコンのRETURNを押します。  
「システム」の枠が選択された状態（緑色）になります。

### 参考

- 文字の入力方法は「[文字を入力するとき](#)」(P.13)を参照してください。
- 初期設定では次のユーザー情報が設定されています。
  - ユーザー名：「admin」
  - パスワード：「admin」
  - ユーザーレベル：「ADMIN」
- ユーザーの設定方法については、設定マニュアルを参照してください。
- 第三者によるカメラ操作や設定の改ざんを防ぐため、操作終了後はログアウトすることをお勧めします。

### 注意点

- ログイン中にモニターの電源を切ると、自動的にシステムからログアウトされます。この場合、Webブラウザからのアクセスもログアウトされます。

## ● ネットワークカメラを操作する

### 操作方法

1. 「カメラ操作」を選択します。
2. 「カメラ」で操作したいネットワークカメラを選択します。  
選択されたネットワークカメラの画像が表示されている枠の線が太くなります。
3. 操作したい機能が含まれている枠（次図参照）を選択します。



4. 各機能を操作します。

### 注意点

- ・お使いのネットワークカメラによっては、操作できない機能があります。

## 明るさ/プリセット/フォーカス

機能	内容
明るさ	<p>ネットワークカメラの明るさを調整します。</p> <p><b>1. 設定ボタンを選択してENTERを押します。</b></p> <p> : ENTERを押すたびに、画像が暗くなります。</p> <p> : 明るさを初期設定に戻します。※1</p> <p> : ENTERを押すたびに、画像が明るくなります。</p>
プリセット	<p>ネットワークカメラの向きを、あらかじめ登録した位置に移動します。</p> <p><b>1. 「プリセット」のリストボックスを選択してENTERを押します。</b></p> <p><b>2. ▲または▼でプリセット番号を選択してENTERを押します。</b></p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセット位置の登録については、設定マニュアルを参照してください。</li> <li>・ を選択すると、ネットワークカメラの向きがホームポジションに移動します。</li> </ul>
フォーカス	<p>ネットワークカメラの焦点を調節します。</p> <p><b>1. 設定ボタンを選択してENTERを押します。</b></p> <p> : ENTERを押すたびに、焦点が近くなります。※2</p> <p> : 焦点を自動的に調節します。※3</p> <p> : ENTERを押すたびに、焦点が遠くなります。※2</p>

※1 「プロトコル」が「ONVIF」のネットワークカメラの場合は、設定できません。

※2 「プロトコル」が「ONVIF」のネットワークカメラの場合は、手動調整モードに切り替わります。

※3 「プロトコル」が「ONVIF」のネットワークカメラの場合は、自動調整モードに切り替わります。

## ズーム/ポジション

機能	内容
ズーム	ネットワークカメラの表示倍率を調節します。 1. ZOOM-/ZOOM+ を押します。  : ZOOM- を押すたびに、ズームアウトします。  : ZOOM+ を押すたびに、ズームインします。
ポジション	ネットワークカメラの撮影位置を調節します。 1. </>/^/∨ を押します。   : 水平位置を調節します (パン)。   : 垂直位置を調節します (チルト)。

### 参考

- USBマウスで操作している場合は、画像の中心に表示したい場所をクリックすると、自動的にネットワークカメラの位置が調節されます (パナソニック社製ネットワークカメラで、パン、チルト、ズームの機能が搭載されている場合のみ)。

## 4-5. 画面の明るさを調整する

バックライト (液晶パネル背面の光源) の明るさを変化させて、モニター画面の明るさを調整します。

### 設定範囲

0~100

### 設定方法

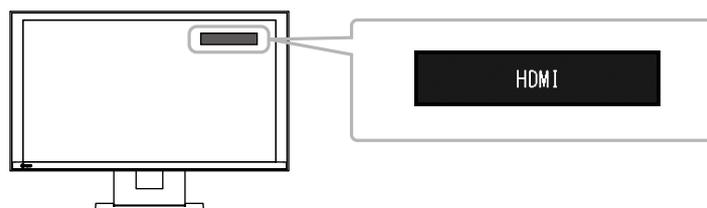
1. リモコンの BRIGHT- または BRIGHT+ を押します。  
明るさ調整メニューが表示されます。



2. BRIGHT- または BRIGHT+ で設定します。  
メニューは約5秒後に自動的に消えます。

## 4-6. 入力信号を切り替える

リモコンの INPUT を押すと、入力信号が切り替わります。  
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



### 参考

- 本体操作ボタンの SIGNAL で入力を切り替えることもできます。

## 第5章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

### 5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードは正しく接続されていますか。</li><li>主電源を入れてください。</li><li>モニター前面の  またはリモコンのPOWERを押してください。</li><li>主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。</li></ul>
・電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none"><li>画面の明るさを調整してみてください（詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）</li></ul>
・電源ランプが点灯：青色（HDMI入力時）	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMIケーブルは正しく接続されていますか。</li><li>接続機器の電源は入っていますか。</li><li>HDMIケーブルを接続し直してみてください（詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）。</li></ul>

### 5-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>画面の明るさを調整してください（詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。）</li></ul>
2. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"><li>この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。</li></ul>
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"><li>これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。</li></ul>
4. 画面上に干渉縞が見られる/液晶パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMIポートに切り替えて、画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。</li></ul>

## 5-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. モニター前面の操作ボタンが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（ロックの解除方法は、設定マニュアルを参照してください）。</li></ul>
2. リモコンボタンが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコン受光部に向けていますか。</li><li>リモコン受光部との間に障害物はありませんか。</li><li>乾電池が消耗していませんか。</li><li>乾電池を入れる方向を間違っていないか。</li></ul>
3. マウスが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>USBケーブルは正しく接続していますか。</li><li>USBケーブルを接続し直してください。</li><li>マウスはモニターに直接接続されていますか。</li></ul>
4. リモコンやマウスの反応が悪い	<ul style="list-style-type: none"><li>ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてください（詳細は、設定マニュアルを参照してください）。</li></ul>
5. ネットワークカメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>カメラ操作が可能なレベルのユーザーで、システムにログインしていますか（詳細は、設定マニュアルを参照してください）。</li><li>シーケンス表示中はネットワークカメラの操作はできません（詳細は、設定マニュアルを参照してください）。</li></ul>
6. USBメモリーが認識されない	<ul style="list-style-type: none"><li>USBメモリーは正しく接続していますか。</li><li>USBメモリーを接続し直してください。</li><li>USBメモリーはモニターに直接接続されていますか。</li></ul>

# 付録

## 商標

SD ロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4、Spyder5はDataColor Holding AGの商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

LinuxはLinus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、ThunderboltはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

Red HatはRed Hat, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

Panasonic、i-proはパナソニック株式会社の登録商標です。

ONVIFは、ONVIF Inc.の商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor Pro、ColorEdge Tablet Controller、Re/Vue、EIZO Monitor Configurator、G-IgnitionはEIZO株式会社の商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

## ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースソフトウェアのうちGPL (GNU GENERAL PUBLIC LICENSE) の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合には、GPLの利用許諾条件に従い、当社は次のコンタクト情報宛てにコンタクトしてきた個人、団体に対し、お買い上げ後、少なくとも3年間、実費にてGPLソフトウェアに対応するソースコードを、CD-ROMなどの媒体により頒布いたします。

また、LGPL (GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE) の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合についても、上述のGPLの場合と同様の手続きにてソースコードを頒布いたします。

### コンタクト情報

<https://www.tenawan.ne.jp/r/20101/0001/>

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、この製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、この製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

この製品はSDカードスロットを本体内部に備えています。ただし、保守メンテナンス用のため、使用することはできません。



## VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

## その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

